

日時 令和5年8月21日(月)午後2時～
会場 総合体育館大会議室

令和5年度 第2回松本市学校部活動の地域クラブ活動への移行検討協議会

次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議事項
地域移行モデルケースの進捗状況について
課題管理表の対応報告について
文化部活動の集計（暫定）について
今後の方向性について
- 4 その他
- 5 閉会

令和5年度 部活動地域移行プロジェクト 体制表

部活動地域移行検討協議会 10名(年4回開催)

役職	職名	氏名
委員	日本部活動学会副会長、大日向中学校長	長沼 豊
	松本大学健康科学研究科准教授	新井 喜代加
	中学校長会長(丸ノ内中学校長)	宮下 昌史
	山間小規模校代表(会田中学校長)	宮澤 陽子
	P T A 連合会	加藤 慎介
	P T A 連合会	矢野 麻美
	市スポーツ協会事務局長	横内 俊哉
	NPO法人松本山雅スポーツクラブ理事長	柄澤 深
	芸術文化振興財団理事長	青山 織人
公民館長会会長(今井公民館長)	櫻井 貞文	

部活動地域移行検討協議会参加メンバー 19名

役職	職名	氏名
オブザーバー	信州大学教職支援センター准教授、松本市教育顧問	荒井 英治郎
会員	教育長	伊佐治 裕子
	教育次長	逸見 和行
	教育監	坂口 俊樹
	教育政策課長	小西 えみ
	学校教育課長	清沢 卓子
	学校施設担当課長	丸山 丈晴
	生涯学習課長	石川 善啓
	文化観光部長	小口 一夫
	文化振興課長	清澤 明子
	スポーツ本部長	大島 良司
	スポーツ事業推進課長	山本 茂
	住民自治局長	藤森 誠
地域づくりセンター長	麿 国人	
事務局	市総括コーディネーター	幅 誠一郎
	指導主事	高山 智史
	係長	降旗 基
	主査	竹内 賢
	主査	千賀 康孝

協議会ワーキングメンバー 15名

所属課	職名	氏名
学校教育課	課長補佐	小岩井 宏
	課長補佐	小笠原 晃子
	主事	中村 武史
学校支援室	市総括コーディネーター	幅 誠一郎
	指導主事	高山 智史
生涯学習課	課長補佐	中村 安広
	主査	小岩井 一樹
	主任	森田 耀子
文化振興課	課長補佐	公保 靖彦
	主事	脇谷 絵梨香
スポーツ事業推進課	課長補佐	三井 正勝
	主査	齋藤 康治
事務局	係長	降旗 基
	主査	竹内 賢
	主査	千賀 康孝

地域移行モデルケースの進捗状況 2

1 総合型地域スポーツクラブ型(梓川中学校)

(1) 受け皿：梓川少年スポーツ教室

教室名	代表者	練習	場所
剣道	牛田 隆男	(水)19:00~20:00 (土)18:00~20:00	梓川体育館
卓球	丸山 強	(水)19:00~21:30 (土)19:00~21:30	梓川体育館
サッカー	藤井 秀康	(水)19:00~21:30 (日)9:00~12:00	多目的グラウンド 梓川中学校校庭
バレーボール男女	二村 真光	(水)19:00~21:00 第1,3,5 (土)9:00~12:00 第2,4 (土)9:00~12:00 11~2月 (月)17:30~19:30	梓川中学校体育館
バスケットボール男女	二村 喜子	(金)17:00~19:00 第2,4 (土)9:00~12:00	梓川中学校体育館
ソフトテニス	濱野 憲吾	(日)8:00~11:00	梓川中学校庭球場
軟式野球	原 康	現在、学校部活が主体。大会時にはベンチ入りも	

(2) 前回からの動き

梓川少年スポーツ教室指導者と保護者(11名)、梓川中学校(校長、教頭、部活動担当)、市関係課(学校教育課、スポーツ事業推進課、教育政策課)と懇談(7月26日)

- ・ 休日の地域クラブ活動に向けての確認
- ・ 平日部活の地域移行の可能性
- ・ 課題点(練習場所、中体連との関係、学校や現顧問との連携)についての話し合い

(3) 今後の方向

具体的な移行手順やクラブの方針等を顧問と指導者との打ち合わせ(二学期)

保護者、生徒に向けての説明会実施

クラブごとの保護者会(規約、活動方針等)

(4) その他の地区の動き

波田地区総合型地域スポーツクラブ「はたっこ」と波田中学校との連携

- ・ 「はたっこ」指導者との懇談会(7月6日)
各種目の指導者リストを作成し、波田中学校との連携を進めていく。
- ・ 波田スポーツ協会へ協力要請(7月14日)

2 複数学校の特定競技移行型(軟式野球)

(1) 前回からの動き

野球部顧問会開催 6月6日(12校出席、2校欠)

- ・ 市内5ブロックに分けて合同部活にしていく。野球部のない学校も、野球がやりたい子どもは近くのブロックに参加できるようにする。
- ・ 令和5年度新人戦から実施していく。できるブロックからクラブ化していく。
- ・ 人数が多い学校も単独チームで大会に出ることはしない。合同部活で大会参加。よって松本市は5チームで大会参加していく。(松本国際中を含めると6チーム)

校長会にてブロックによる合同部活を了承 6月19日(リモート会議)

地 域	合同部活(野球部がある)	委任指導(野球部がない)
A(北部・東部)	女鳥羽中 14 清水中 5 会田中 4	山辺中 2 丸ノ内中 0
B(南部)	菅野中 13 信明中 10 鉢盛中 12	
C(南東部)	筑摩野中 14 開成中 4 明善那 4	
D(西部)	梓川中 3 波田中 7 松島中 9	安曇中 0 大野川中 0 奈川中
E(市街地北部)	鎌田中 13 旭町中 6	高綱中 1 附属中 2 秀峰 1

数字は1,2年部員数

数字は委任している生徒数

(2)今後の方向

- 各中学校での保護者への説明
- 合同練習の開始(夏休みより)
- 中体連への合同部活の申請、承認

3 少ない部活動種目移行型 (バドミントン)

(1) 前回からの動き：バドミントン教室(まつもと城東BC)の開催。

松本市総合体育館、南部体育館、本郷体育館、寿体育館 他
毎週土曜日実施。中学1～3年 延べ70名が参加

(2) 今後の方向

バドミントン教室の充実

他中学校の動き:学校名(1,2年部員数)

- ・女鳥羽中学校(25)...部活動をR4内に既存する地域クラブへ練習を移行していくことを検討中。R5には休日の完全移行。
- ・奈川中学校 (3)...奈川スポーツ協会の指導者が継続して指導する方向。他の山間地校(大野川中1、安曇中2)も希望があれば、指導可。



4-1 部活動指導員起点型(合唱部・波田中学校 波田合唱クラブ)

(1) 前回からの動き：

6月15日の保護者会を経て、「波田合唱クラブ」が発足。7月下旬のコンクールに向けて平日は中学校音楽室で部活動、土曜日は波田公民館大会議室等を利用して練習。クラブ費は大会参加料や借り上げバス代等の実費。指導者の謝礼は、本年度のモデル校として2名分が予算化。

指導者：折橋章子さん(R4部活指導員)、横内正さん(波田中合唱部顧問)

(2) 今後の方向

市内中学校合唱部(7校)についても、学校ごとの意見を聴取する機会を設けていく。

運動系文化系にかかわらず、部活動の主たる指導者が一人のところが多い。合同部活を除き、今後クラブ化していくうえでは、指導者の複数確保が必要。指導者に負担がかかったり、不測の事態に活動が滞る場合がある。また、練習が指導者中心でなく、子どもたちの自主的な活動になるように日頃からの支援を大切にしたい。

4-2 部活動指導員起点型(女子バスケットボール部・高綱中学校 Always オールウェイズ)

(1) 前回からの動き：

7月4日の保護者会にて趣旨説明や運営方法を理解してもらう。

7月16日クラブ「Always(オールウェイズ)」を発足。練習を開始する

指導者：武居伸侍さん(R5部活指導員)、上原七海さん(松本大4年)

練習会場は高綱中学校体育館を使用。平日は部活動、休日は隔週で部活動とクラブ活動を併用していく形を予定。クラブは7人の部員に、バスケ体験希望者1名(高綱中2年、他の部活には未加入)の8名が参加。

クラブ費は入会費1,000円(含む保険代800円)と毎回500円の参加費を徴収している。指導者の謝礼は、本年度のモデル校として2名分を予算化している。



(2) 今後の方向

クラブ内には「チャレンジコース」(勝利を目指したスキル向上)と「エンジョイコース」(初心者を対象にバスケを楽しむ)の2通りを設定。女子バスケットボール部がない他校へも周知させていく。

顧問が休日に出なくなっても、練習場の鍵管理や休日の他校との練習試合等の学校側の連絡係として、クラブ指導者との連絡を日頃より取っていく。

令和5年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況（課題管理表）

2023/8/21

分類	内容	課題提起 学保 関	対応者	期限	対応	対応完了日
1	市としての理念 松本市としてのビジョンを（しかるべき人から）示してほしい。休日部活動の移行という観点からだけでなく、松本市として、スポーツや文化の活動をどのように捉えているか示してほしい。この長期展望からR5（R6も）の地域クラブ活動の目指す姿（当面の完成形）を示してほしい。		学校教育課 スポーツ推進事業課 文化振興課 教育政策課	2023/10/1 2024/3/31	・国のガイドラインにおいても、各自治体における推進計画の策定が示されているため、今年度を目途に推進計画を策定し、目指す姿の周知を図ります。	
2	推進日程 本当に部活動の移行は行われるのか、いつから部活動がなくなる、ということを明言してほしい。覚悟が決まらない。令和8年度の移行に向けて、令和5年度は何をするのか。具体的なスケジュールを示してほしい。		教育政策課 学校教育課	2023/10/1	<2023/6/15> ・松本市議会6月定例会の一般質問において、令和7年度末までに地域移行を完了する旨答弁しました。 ・具体的なスケジュールについては、今後国の動向や検討協議会での協議を踏まえ、検討していきます。	
3	協議会 協議会の議論の様子を定期的に共有してほしい。何が決まって、何が課題点なのかについて、現場レベルでは情報がない。校長会・教頭会等で教えてほしい。		教育政策課 学校支援室 スポーツ事業推進課	2023/6/30 2023/10/1	<2023/6/15> ・市ホームページに協議会のページを作成し、会議資料をアップロードしました。 <2023/7/19> ・野球合同部活動の状況について校長会に説明しました（オンライン）。	
4	協議会 どのようなルートで情報は周知され、どこが課題点を検討するのか。どこが何をするのか、という協議会の持ち方を明らかにしてほしい。		教育政策課	2023/6/30	<2023/8/1> ・関係者会議で各課の課題を協議し、移行検討協議会で承認いただいた後、市ホームページや各種説明会等での周知を行います。	
5	指導者 希望する教員が地域クラブ指導者となり、希望しない教員が関わらないで済む体制をお願いしたい。		学校教育課	2024/3/31		
6	競技会等の在り方 中体連以外の競技会運営にも教員が関わっていたが、今後、指導を希望しない教員が増えることが予想される。運営スタッフの不足を補充するアルバイト等を募集すれば、結果的に参加費の高騰を招く可能性がある。競技会等の在り方を検討する必要があるのではないか。		スポーツ推進事業課	2023/12/1		
7	地域クラブ活動の在り方 地域クラブ活動のガバナンスを担保する必要がある。指導者のハラスメント、異なる学校間で集まる生徒間のトラブルについても学校ではなく各地域クラブ活動で対応する必要がある。		スポーツ推進事業課	2023/12/1		
8	地域クラブ活動の在り方 レクリエーション志向の種目などをはじめ多様な種目を体験できる地域クラブ活動が活発になるよう期待したい。		教育政策課	2023/12/1		
9	指導者の質 教員が大切にしてきた生徒個人の特性等に応じた指導は、これからも重要である。子どもと接する機会の少ない地域クラブ指導者の質を向上するために研修の機会が必要である。市として研修会を確保してほしい。		スポーツ推進事業課	2024/3/31	<2023/4/1> ・本年度から、指導者の質・量の確保を目的に、公認スポーツ指導員資格者の取得に係る経費について補助金交付を行っています。 ・また、指導者向けの研修会について、令和6年度の開催を検討しています。	
10	指導者の量 教員が「休日だけでなく、平日も指導に関わりたくない」という意思を表明する状況が予想される。休日も、まして平日の地域クラブ活動の指導者を確保することは困難である。一方で子どものスポーツや文化の活動の衰退は避けるべき。指導者を安定的に確保できる体制を手当てを含めて検討し、整えてほしい。持続的に関わることのできる指導者を確保するために人材バンク等の検討をお願いしたい。		教育政策課	2023/12/1		
11	指導者の量 国は教員に支給されてきた教員調整額の見直しを図っているようだが、今後残業代が支払われることで、教員が平日の時間外に部活動指導を担うという方針があるのか。国の動向を教えてください。		学校教育課	2024/3/31		

令和5年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況（課題管理表）

2023/8/21

分類	内容	課題提起 学保関	対応者	期限	対応	対応完了日
12	会費 地域クラブ活動への移行は、低廉な部費から高い月謝を支払うことへ転換されることが予想され、「やってみたい」活動を行えない生徒が一定数生じることが考えられる。低廉な月謝となるよう補助を検討いただくか、低廉な月謝となる地域クラブ活動を創設してほしい。そうでないと、スポーツや文化活動の衰退を招きかねない。		教育政策課 スポーツ推進事業課	2024/3/31		
13	送迎 今まで通学する中学校で練習が行われてきた。地域クラブ活動では活動場所は遠方になる可能性がある。周回バスなどにより、「やってみたい」を続けられるシステムを検討してほしい。		公共交通課	2024/3/31		
14	産学官の連携 体育館や文化施設を有する一般企業や、スポーツ関連企業、あるいは、近隣大学との連携により、地域に根ざすスポーツや文化の活動を醸成してほしい。		スポーツ推進事業課	2024/3/31		
15	第3者機関 部活動であれば、生徒間のトラブルや顧問の不適切な対応は、学校や教育委員会が指導管理してきた。今後地域クラブ活動を管理し、指導する機関が必要になるのではないか。		スポーツ推進事業課	2024/3/31		
16	保険 地域クラブ活動への加入に際しては、子どもや指導者の怪我や事故への保障をカバーできる学校の共済保険と同等の保険への加入をお願いしたい。		学校教育課 スポーツ事業推進課 文化振興課 生涯学習課	2023/6/30	<2023/7/5> ・学校を由来とする地域クラブ活動に対しては、スポーツ安全保険への加入を推奨しています。 <2023/7/5> ・スポーツ安全協会に保険の案内用パンフレットの送付を依頼しました。	
17	施設・用器具 地域クラブ活動が学校施設を借りられないと活動できない。中学生が所属する団体には学校施設の優先利用をお願いしたい。そのための学校開放を検討してほしい。その際、校舎に入らなくてもよい外トイレの充実や、ナイター整備も検討してほしい。また地域施設も同様に検討してほしい。		学校教育課施設担当	2024/3/31		
18	施設・用器具 たとえば吹奏楽では、楽器を保管でき、素早く練習を行うことのできる学校の音楽室の利用が期待される。この場合、地域クラブ活動が利用できる学校開放の在り方が求められる。具体的には、地域指導者が利用可能となるよう施設等の在り方を検討する必要がある。		学校教育課施設担当	2024/3/31		
19	施設・用器具 平日や休日の学校施設開放に学校が関わらない仕組みを作してほしい。		学校教育課施設担当	2024/3/31		
20	施設・用器具 部活動では消耗品や備品として整備され利用できた用器具（デジタルタイマーやボール、楽器など）を地域クラブ活動は利用可能か。利用できる体制が必要だと思われる。		学校教育課施設担当	2024/3/31		
21	指導方針 当面、平日と休日とで異なる指導者が指導するため、指導の方向性が異なると混乱する可能性がある。またどちらの団体で大会に出場したらよいかを迷う。		スポーツ推進事業課	2024/3/31		
22	兼職兼業による指導の混乱 兼職兼業が許可された教員が、平日は部活動の野球を指導し、休日は地域クラブ活動のサッカーを指導している。休日に中体連大会と地域クラブ活動の大会とが重なった場合、どちらを優先する必要があるか。本務は学校であることから部活動を優先することは理解しているが、一方で地域クラブ活動の醸成を目指す際には、この問題がクリアにならないと足かせになる。可能であれば、このような問題をクリアするために休日のみならず平日の部活動の廃止を検討してほしい。		学校教育課	2024/3/31		

令和5年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況（課題管理表）

2023/8/21

	分類	内容	課題提起 学保関	対応者	期限	対応	対応完了日
	23	特色ある地域クラブ活動		スポーツ推進事業課 生涯学習課 文化振興課	2024/3/31	レクリエーション志向のものも含め、受け皿となる団体との調整を進めているところです。	
	24	地域クラブ活動の在り方		スポーツ推進事業課 生涯学習課 文化振興課	2023/7/30	<2023/8/8> ・地域クラブ設立に伴う具体的な要件等について、担当課で詳細を検討しています。	
	25	部活動の在り方		学校教育課	2023/12/1	<2023/7/5> ・今後の入学者数を長期的に捉えて、部活動数の適正化を図る必要があります。委任指導や合同部活動を許可する校長会が主導することとなります。 ・拠点校部活動はあくまで部活動の枠組みとなるため、本市では実施を検討していません。拠点校を構成したとしても、地域移行を進めるために、その拠点校の地域移行を再度検討する負担が生じます。また拠点校部活動を指導する指導者は、異動が前提となる学校職員であることを考えると、持続的に関わることのできる指導者を確保できない可能性があります。また指導を希望しない教員が指導を行わざるをえない可能性も払拭できないものと思われます。	
	26	県の財源		教育政策課	2024/3/31	2023/8/1 ・部活動手当とは関係なく、国として地域クラブ活動への新たな補助制度を検討しているようですが、詳細は未定です。	
	27	地域特性		教育政策課	2024/3/31		
新	28	地域クラブ活動の在り方		学校支援室 スポーツ推進事業課	2024/3/31		
新	29	指導者		学校教育課 教育政策課	2024/3/31		
新	30	市としての理念		学校支援室 スポーツ推進事業課 文化振興課	2024/3/31		
新	31	市としての理念		学校支援室 スポーツ推進事業課 文化振興課	2024/3/31		

公認スポーツ指導者資格取得推進事業

スポーツ事業推進課

趣旨

中学校運動部活動の地域クラブへの移行に伴う指導者の質・量の確保を推進することを目的に、公認スポーツ指導者資格の取得に係る経費について補助金を交付するもの。

対象資格

公益財団法人日本スポーツ協会等の公認スポーツ指導者資格（コーチ１・スタートコーチ（教員免許状所持者））並びにこれらと同等の資格

対象者

松本市立中学校の運動部活動がある競技団体

（陸上競技、ソフトテニス、バレーボール、バスケットボール、卓球、軟式野球、サッカー、バドミントン、卓球）

各競技団体の受講する指導者は、スポーツ庁が定める「スポーツ団体ガバナンスコード 一般団体向け」及び「松本市中学生期のスポーツ活動指針」を遵守していること。

対象経費及び補助率

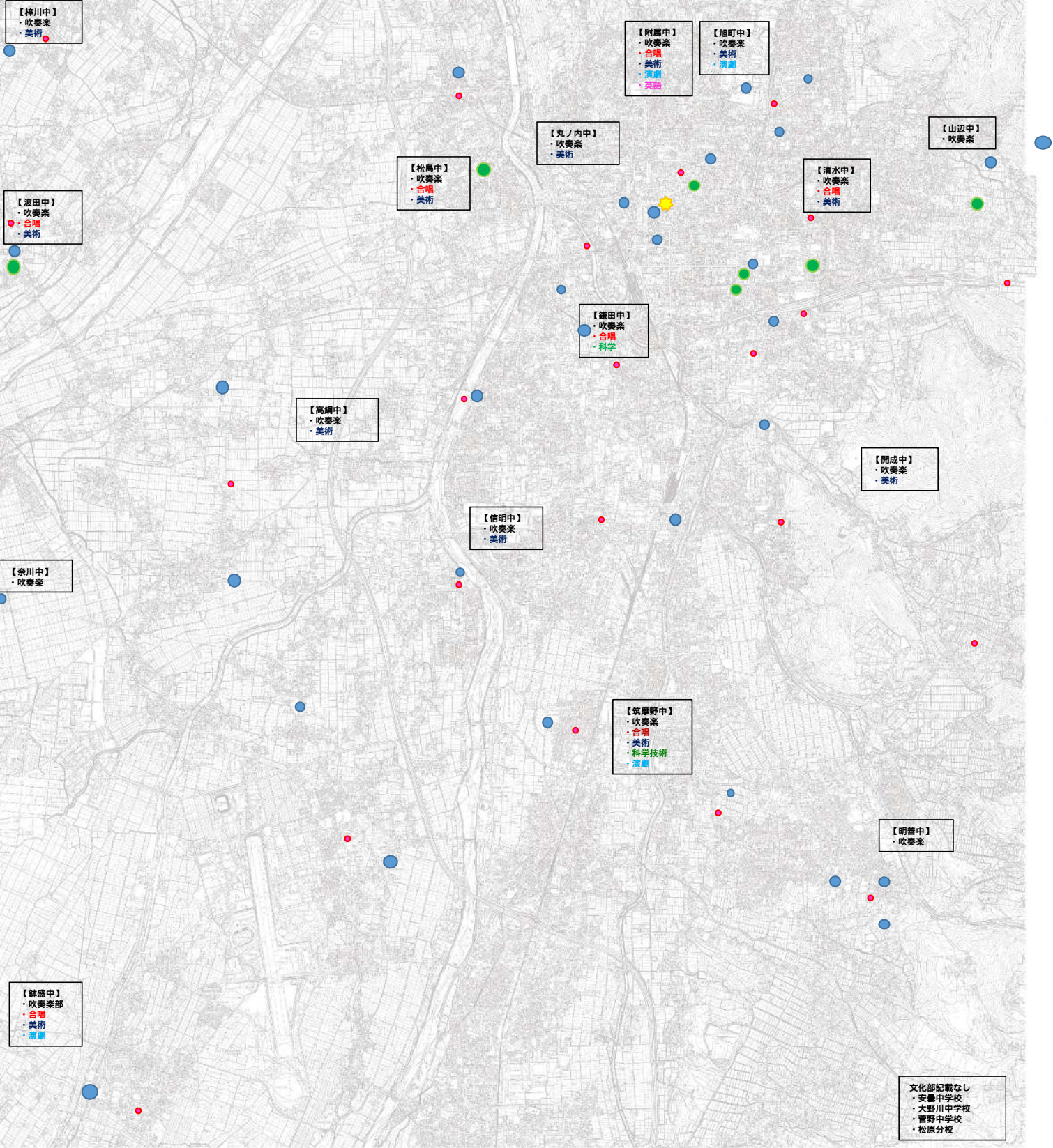
- ・ 受講料 受講料の 1/2 以内（補助上限 20,000 円 / 人）
 - ・ 登録料 登録料の 1/8 以内（更新 4 年制） 1/2 以内（更新 1 年制）（補助上限 2,500 円 / 人）
- 他団体（一般財団法人松本市スポーツ協会を除く。）から補助がある場合は、受講料及び登録料から補助を差し引いた額に補助率を掛けるもの。

松本市 中学校文化部活動 位置図

中学校 文化部活

地区公民館
その他文化施設
市立小学校

・吹奏楽・合唱・美術・科学
・演劇・家庭科・英語



文化振興課・生涯学習課関係団体の中学生への紹介について

【団体】

No	分野	団体名	肩書	代表者	活動分野	活動場所	練習日・時間	対象・出場大会	指導者の所有資格	入会金	会費	保険	加入要件	紹介方法	その他	担当課
1	合唱	ペーレンコール	団長	上松 幸雄	合唱	音文、あがたの森、本郷公民館、島内公民館	毎週水、土 19:00-21:30	コンクール (全日本合唱コンクール)	有 (日本指揮者協会会員)	無	有(1,500円/月)	無	送迎が可能な方	中学校 ホームページ 問い合わせ		生涯学習課
2	合唱	松本混声合唱団	副団長	竹内 巧	合唱	あがたの森、音文、中央公民館	月2回火曜日、月2回金曜日 19:00-21:30	初心者、中級、その他 (年1回開催する団主催の演奏会、松本市芸術文化祭合唱部門等への参加)	無	無	有(一般3,000円/月、学生1,500円/月)	無	無	中学校 ホームページ 問い合わせ		生涯学習課
3	合唱	SK松本ジュニア合唱団		横山 哉子	合唱 ミュージカル	キッセイ文化ホール、岡田公民館、本郷公民館、島内公民館など	第1.第3土曜日 14:00-16:00 第2.第4日曜日 10:00-12:00	レクリエーション、初心者、その他(定期演奏会、長野県青少年合唱祭、中信地区童謡唱歌をうたう会への参加)	有 (音楽科教員免許)	有(入団費 2000円 制服貸与代 5000円 すばあんネット保険代 800円)	有	有 (すばあんネット)	年800円 傷害賠償責任保険等	中学校 ホームページ 問い合わせ		生涯学習課
4	語学	日本ユーラシア協会長野県ロシア語支部	代表	窪田 正子	ロシア語学習	大手公民館	水曜日の午前中	初心者	無	無	有(1回2,000円)	無	無	中学校 ホームページ		生涯学習課
5	語学	英会話サロンAngel		小林 善江	英会話	庄内公民館	火曜日 10:30-12:30	初心者・中級	無(中学生に限る)	無	無	無	無	中学校 ホームページ 問い合わせ	平日開催のため、現段階でのかわりは難しい。休日開催になった際には参加していただきたい	生涯学習課
6	語学	今どきの英会話 メイブルリーフ		原 牧子	英会話	トライあい・松本	月曜日10:15-11:45	初心者・中級	無	有(3,000円)	有	無	無	ホームページ		生涯学習課
7	美術	土と炎の会	会長	望月 敏通	陶芸	鎌田地区公民館	毎週土 10:00-16:30	初心者・中級・コンクール (鎌田地区公民館文化祭等)	無	有(1,000円)	有(3,000円/年) その他指導料(1,000円/年)	無	無	中学校 ホームページ 問い合わせ		生涯学習課
8	その他	松本子ども劇場		中山 真樹子	舞台鑑賞・野外活動・レクリエーションなどの実施	舞台鑑賞:市内公民館やホール 野外活動:キャンプ場など レクリエーション:市内公民館など	特になし	レクリエーション、その他(どなたでも)	無	有(500円)	有	無	無	中学校 ホームページ 問い合わせ		生涯学習課
9	その他	アロマテラピー<香育>		原田 りえ子	アロマクラフトづくり	市内各所	随時	レクリエーション、初心者、中級、その他(資格取得希望者)	有(AEJ認定アロマセラピスト、AEJ認定アロマテラピーインストラクター、看護師、保健師、エステティシャン、メディカルハーバリスト、カラーセラピスト、サイコセラピスト)	無	有	有 (アロマテラピー保険)	AEAJ個人正会員	中学校 ホームページ 問い合わせ		生涯学習課
10	音楽	エポニー・アンサンブル	代表	鎌田 博之	音楽アンサンブル(クラリネットとフルート)	主に松本市内公民館	毎週木曜日夜間(19時ごろから)	初心者・中級	有	無	有(1,000円/月、10,000円/年)	無	無	中学校 ホームページ 問い合わせ		文化振興課
11	音楽	サンカヨウの会		山本 則子	音楽	音楽文化ホール		レクリエーション、初心者、中級	無	500円	500円	無	音楽好きな方	問い合わせ		文化振興課
12	音楽	チェンバロ研究会	代表	西田 令子	チェンバロ演奏と研究	音楽文化ホール練習室と会員自宅レッスン室	会員各自の予定、又は指導者の都合により決定する	その他(年に1度、音文で発表会を開催)	有(日本及び海外の大学でチェンバロを学び演奏、指導をしているチェンバリスト)	無	3,000円/年 他に楽器代、部屋代等が都度発生	無	無	問い合わせ		文化振興課
13	音楽	中信地区母親コーラス連盟	事務局	金田 よしこ	年1回の所属団体発表	音楽文化ホール大ホール		その他(所属団体(中信地区・大北・木曾・東筑摩郡PTA親子コーラス等))	無	無	350円/1回、子供半額	無	無	中学校 ホームページ 問い合わせ	現在、「母親を中心とした」という規約がありますが、総会(6月)で中高の合唱も受け入れを検討したいと思っています。	文化振興課
14	音楽	松本ウィンズ・コンソート	代表	北沢 治樹	吹奏楽	波田文化センター	毎週水曜日19時-21時30分 土曜日又は日曜日(月2回)13時半-16時半、または19時-21時半	初心者、中級、その他(夏期に定期演奏会、冬期にクリスマスコンサートを開催)	有(市内中学校吹奏楽部指導員(元教諭))	1,500円	2,000円/月	無	まずは見学、又は楽器持参で。練習時は、原則保護者の送迎をお願いします。	中学校 ホームページ 問い合わせ		文化振興課
15	音楽	松本文響楽団		入倉 和幸	オーケストラ(管弦楽)	音楽文化ホール、あがたの森文化会館、ほか市内施設	毎週木曜日:19時半-21時半	中級、その他(定期演奏会、ニューイヤークンサートへの参加)	無	無	1,000円/月	無	楽器経験者のみ。練習が市内各所のため、保護者の送迎が必須です。保護者と一緒のご参加歓迎	中学校 ホームページ 問い合わせ	当団は楽器経験者の集まりで個別の楽器指導者はいません。参加にあたっては全て自己責任となることをご承知おきください。	文化振興課
16	音楽	松本シティーマーチングバンド	代表	豊島 実	マーチング、吹奏楽、カラーガードでのパレード、大会参加	松本市内小学校、地区体育館	毎週土曜日:18時30分-21時 7-10月日曜日は1日練習	初心者、中級、コンクール(マーチングバンド県大会と関東大会)、その他(市内パレード:OMF、松本ぼんぼん、アルウィン、ピッチウォーク、バスケットハーフトタイムショー他)	有(日本マーチングバンド指導者協会1級指導員)	無	3,000円/月	無	未成年者は保護者許可、マーチング経験不問、小型楽器原則個人持ち(相談)	中学校 ホームページ 問い合わせ	見学、体験入隊は通年可能です。ご一報ください。	文化振興課
17	音楽	松本発声研究会	代表	杉田 燈里	声楽独唱	老人ホーム等(ボランティア)、コンサート(音楽文化ホール等)	月1-2回	初心者、中級	有(中学校教員免許(1名)、保育士(3名)、幼稚園教諭2種(1名))	無	その時によって変動	無	特になし	中学校 ホームページ 問い合わせ		文化振興課
18	音楽	松本ハンドベル同好会	事務局	奥原 和枝	イングリッシュハンドベルのレッスン	市内公民館	第1・3土日	初心者	無	無	5,650円/月	無	無	問い合わせ		文化振興課
19	音楽	松本ベルエコース	代表	奥原 和枝	イングリッシュハンドベルの練習、演奏活動	市内公民館	第1・3土日の午後3時-4時半、不定期	初心者、中級	無	無	有	有 (全国社会福祉協議会団体補償)	無	ホームページ 問い合わせ	(文化振興課記載)対象年齢が「学生は除く」となっているため、紹介の際には確認が必要	文化振興課
20	音楽	和太鼓 花水木	代表	沼田 正康	伝統芸能(和太鼓)	白金町公民館、音楽文化ホール、波田文化センター	毎週日曜日13:30から	初心者、中級	無	なし バチの購入代金が必要	3,000円/月	無	特になし	中学校 ホームページ 問い合わせ	10名程度集まれば、指導に出向きます。指導日・会場・費用は応相談。	文化振興課
21	音楽	フィルハーモニック・オーケストラ・松本	指揮	近藤 聡	オーケストラ	松本近隣のホール、公民館等	年2回の演奏会、その前に不定期練習	レクリエーション、初心者、中級	有(教員免許)	無	演奏会ごと2,000円程度	無	無	中学校 ホームページ 問い合わせ		文化振興課
22	音楽	コーラスアキュビーズ		原 志津子	ポップスを歌う合唱団	松南公民館、なんなんひろば音楽室	月2回:金曜日19時半-21時	初心者、中級、その他(長野県母親コーラスまつり、なんなんフェスタ等)	第一指揮者、第二指揮者ともに作曲・編曲家	無	6,000円×2回(前後期)	無	歌うこと、ハモること、その他音楽が好きな方	中学校 ホームページ 問い合わせ		文化振興課

学校部活動地域移行 松本モデル

～子どもの「やってみたい！」を応援する・生涯に渡ってスポーツ・文化に親しむ～

方向性・目指す姿

現状・課題

- 少子化により部活動の継続が困難、**やりたい部活がない**
- 専門性的な指導が受けられない場合がある
- 部活動を指導する**教員の長時間労働**
- 移行の進め方は自治体が決定

取り組み

- 国の方針に基づき、**休日の中学校部活動を段階的に地域クラブ活動に移行し、平日活動も可能な範囲で移行を進める**
- 様々な運営団体によるモデル事業を実施し、効果的な行政的支援を検証

目指す姿

- 少子化のなかでも**持続的**にスポーツ・文化芸術活動ができる環境を整備し、**子どもの「やってみたい」の選択肢を地域で提供**
- 学校部活動を**地域・民間に展開し、地域全体のスポーツ・文化芸術を振興のチャンスに**
- 学校の働き方改革を推進

『学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（R4.12 スポーツ庁・文化庁）より

地域クラブ活動

- ・地域の運営団体・実施主体が行う活動
- ・学校部活動とは異なる活動だが、活動方針や生徒の状況などを学校と連携
- ・年間と月間の活動計画を策定し公表
- ・活動のための可能な限り低廉な会費を徴収することができる
- ・市町村は、地域クラブ活動の取組上表を適宜把握し、必要な助言指導を行う

運営団体

- ・市町村のほか、総合型地域スポーツクラブ、文化芸術団体、スポーツ少年団、クラブチーム、プロスポーツチーム、民間事業者、フィットネスジム、大学、同窓会、保護者会など

活動内容

- ・休日の1日は休養日とし、活動時間は長くとも3時間程度
- ・場所は、公共施設・学校施設を低廉な料金で利用
- ・ケガ等を補償する保険や個人賠償責任保険への加入を促す
- ・特定種目以外でも、複数の種目を経験できる活動も可能
- ・他の世代向けの活動に生徒と一緒に参加することも可能

市町村の役割

- ・協議会の設置や推進計画の策定による移行体制の整備
- ・地域クラブ活動の実施状況の把握と助言指導 ・教員の兼職兼業許可
- ・専門性や資質・能力を有する指導者の確保
- ・学校施設や社会教育施設等の低廉な利用料など負担軽減と利用しやすい環境整備
- ・生徒への送迎面の配慮と経済困窮世帯への支援
- ・企業からの寄附や企業版ふるさと納税などにより負担軽減の取組を推進

運営団体の種類

学校部活動移行型

現在の部活動に由来する地域クラブを顧問や部活指導員等が立ち上げて、地域クラブ活動を実施

R5モデル事業

- ・高綱中学校女子バスケ部
- ・波田中学校合唱部
- ・5つの野球部合同部活

地域クラブ「Always」
地域クラブ「波田合唱クラブ」
5つの地域クラブ（予定）

メリット・デメリット

- 学校や平日部活動との連絡調整が容易
- 既に活動する指導者がおり、地域クラブの立ち上げが可能
- 営利目的ではないため、比較的安価な受益者負担が可能
- ×運営ノウハウがなく、安定的な活動や持続可能性に不安がある



既存クラブ展開型

学校部活動ではなく、中学生向けの既存クラブや他年代向けの団体が、新たな活動として地域クラブ活動を実施

R5モデル事業

- ・城東バドミントンクラブ

メリット・デメリット

- 既存の指導者や運営ノウハウが活用できる
- 小学校・高校年代への連続した活動や、他年代との交流が期待できる
- ×多様目・多会場への事業拡大が困難

総合型地域スポーツクラブ

複数の種目を扱う総合型地域スポーツクラブなど既存の団体が、多様目で地域クラブ活動を実施

R5モデル事業

- ・梓川少年スポーツ教室
(剣道、軟式野球、卓球、サッカー、バレー男女、バスケ男女、テニス)

メリット・デメリット

- 既存の運営ノウハウ・組織があり、安定的な運営が可能
- NPO法人による非営利活動のため、比較的安価な受益者負担が可能
- ×採算性の低い種目・会場では、事業展開できない

民間事業者型

フィットネスクラブや音楽教室などの民間事業者やスポーツ・文化事業を行う企業、大学、文化芸術団体が、地域クラブ活動を実施

他都市事例

- ・福島県：県吹奏楽連盟が県内3地区に吹奏楽アカデミーを開設

メリット・デメリット

- 既存の組織による柔軟な事業展開が期待できる
- 企業等の特性を活かした、これまでにない種目が可能
- ×採算性を重視した受益者負担額となる場合もある

市運営型

市が直営もしくはスポーツ協会や文化財団、クラブチーム等への委託により事業を実施

他都市事例

- ・長野県千曲市：教育委員会が「千曲坂城クラブ」を設立・運営。
- ・静岡県掛川市：運動部を市スポーツ協会に、文化部を市文化財団に委託。

メリット・デメリット

- 公費負担による安定的な運営、低廉な受益者負担
- 生徒・保護者の安心感
- ×民間の参入・発展を妨げ、永続的な公費負担が不可欠
- ×柔軟な事業展開が困難

地域クラブの展開イメージ

学校部活動移行型

既存クラブ展開型

A 中学校部活動



○バドミントンクラブ
総合体育館会場



吹奏楽クラブ
A中学校会場



○地区野球クラブ
A中学校会場



合唱クラブ
A公民館



地域クラブ
□バドミントンクラブ
F 体育館会場

総合型地域スポーツクラブ型



バレーボールクラブ
C 中学校会場、D 中学校会場



ダンスクラブ
F 中学校会場



サッカークラブ
A 中学校会場
B 中学校会場
C 中学校会場



卓球クラブ
剣道クラブ
サッカークラブ
バレーボールクラブ
テニスクラブ
野球クラブ
G 中学校会場

民間事業者型



水泳クラブ
スポーツジム会場

様々な民間企業が
クラブを運営



バスケットボールクラブ
企業体育館会場



陸上クラブ
○大学会場



スキークラブ
○スキー場会場



演劇クラブ
市民芸術館会場

持続可能な地域クラブ活動に向けて

- 原則 市による地域クラブの公認
- 原則 受益者負担
- 原則 適正な指導料
- 原則 スポーツ保険への加入

持続性や適切な指導に関する要件を満たした**地域クラブを公認**し、行政的支援を実施
 地域クラブ活動にかかる費用は、**受益者負担**によって賄う（生活困窮世帯には支援を実施）
 責任ある適切な活動を持続的に行うため、**ボランティアでの指導を前提としない**
 参加者及び指導者は、**スポーツ安全保険等への加入を必須**とする

行政による支援案

1 地域クラブへの支援案

1-1案 地域クラブ立ち上げ補助

地域クラブ活動を実施する運営団体に対し、**様々な用途に利用できる事業立ち上げ資金を補助**する

- ・ **1クラブ20万円**を上限に、事業立ち上げ資金を補助
- ・ 移行期間の令和7年度まで毎年支給。その場合、1年目は上限20万円、2年目は上限10万円と逡減し、自立的運営を促す

メリット・デメリット

- 移行期間のクラブ立ち上げを支援し**地域クラブ活動の実施団体が増える**ことで、**生徒に多様な選択肢を提供できる**
- ×補助したクラブが短期間で活動を中止してしまう可能性もある。保護者に支援が伝わりにくい

1-2案 地域クラブ指導者謝礼補助【R5モデル実施】

多様な地域クラブ活動を想定し、最低限必要な共通経費として**指導者謝礼相当額を実績に応じて補助**する

- ・ 1クラブの補助上限額は1,300円×2人×3時間×52回=405,600円
- ・ 移行期間の令和7年度まで毎年支給。その場合、1年目は満額、2年目4/5、3年目3/5と逡減し、自立的運営を促す

メリット・デメリット

- 実績に応じた補助金支給となる
- ×用途が限定され、事業開始時のニーズと合致しない

1-3案 公共施設利用料の減免・優先予約

中学校施設や文化施設、社会教育施設の使用にあたり、**料金を減免し優先的に予約**を可能とする

- ・ 学校体育館・運動場（半日もしくは夜間）310円、 体育館照明（2時間）150～360円

メリット・デメリット

- 活動場所が確保され会場利用料が低減されることで、**安定的な活動**につながり、**保護者負担の軽減**になる
- ×学校施設以外では、現状でも予約多数で抽選となることから、優先予約は年代間の不公平さを生んでしまう

2 指導者への支援案

2-1案 指導者資格取得補助【R5モデル実施】

指導者資格取得資金の一部を補助し、専門性を有する指導者の増加を図る

- ・陸上、ソフトテニス、バレーボールなど9種目の基礎的な資格を取得する指導者
- ・一般と教員免許状取得者のそれぞれ30名程度を想定し、総額60万円程度を補助する

メリット・デメリット

- 資格取得者が増加し、**指導者の専門性や安全管理能力が向上する**
- ×小額ではあるが、継続的な財政負担が発生

2-2案 プロスポーツクラブによるコーチ派遣

地域クラブに対し、**プロスポーツクラブからコーチを派遣**し、生徒がより専門的な指導を受けられる機会を創出する

- ・サッカー、野球、バスケットボール、バレーボールのプロスポーツクラブに、市が謝礼を支払ってコーチを地域クラブに派遣
- ・各種目で5回×2人の派遣機会を設け、指導を希望する地域クラブに派遣する場合、約45万円程度の事業費

メリット・デメリット

- プロスポーツクラブの指導を受けられる**ことは、生徒にとっても地域クラブ指導者にとっても貴重な機会となる
- ×小額ではあるが、継続的な財政負担が発生

2-3案 プロスポーツクラブによる研修会の開催

プロスポーツクラブのコーチ等を講師に招いて指導者研修会を開催し、**より高いレベルの競技性・安全性を地域クラブ指導者が学ぶ**

- ・サッカー、野球、バスケットボール、バレーボールのプロスポーツクラブに、市が謝礼を支払い研修会を開催
- ・各種目で1回の研修会を開催する場合、約5万円の事業費

メリット・デメリット

- より高いレベルの研修を受けられることで、**指導者の質が向上**し、地域クラブ活動の充実につながる
- ×小額ではあるが、継続的な財政負担が発生

3 生徒・保護者への支援案

3-1案 就学援助制度の適用

就学援助費を受給する**生活困窮世帯に対し、地域クラブ活動参加費を支援**する

- ・就学援助費制度の支給対象経費に、地域クラブ活動の会費を追加する
- ・800人(就学援助費受給者数)×0.8(部活動参加率)×36,000円(3,000円×12か月)=23,040千円

メリット・デメリット

○経済的に困窮する家庭の生徒の地域クラブ活動への参加を支援する

×現行制度では学校部活動参加の経費は支給対象外のため、大きな制度見直しが必要となり、財政的影響が大きい

3-2案 全生徒への地域クラブ活動参加費支援

全生徒に、**地域クラブの会費に使えるクーポン券を配付**する

- ・1回の参加ごとに使えるクーポン券(500円×20枚)を配付。地域クラブは、クーポン券の回収枚数を市に報告し相当額を受け取る
- ・6,000人(市内中学生)×0.8(部活動参加率)×10,000円(クーポン券)=48,000千円
- ・就学援助費受給世帯だけに限定する方法もありうる

メリット・デメリット

○保護者に支援が伝わりやすく活動参加につながる

×持続的な支援になってしまい、財政負担が大きい

3-3案 路線バス運賃の割引

地域クラブの活動場所までの移動支援として、**路線バス運賃を割引く**

- ・地域クラブの所属を証明するものを提示すると、小人料金で乗車できる
- ・タウンスニーカー6か月定期 通常料金39,460円 小人料金19,730円

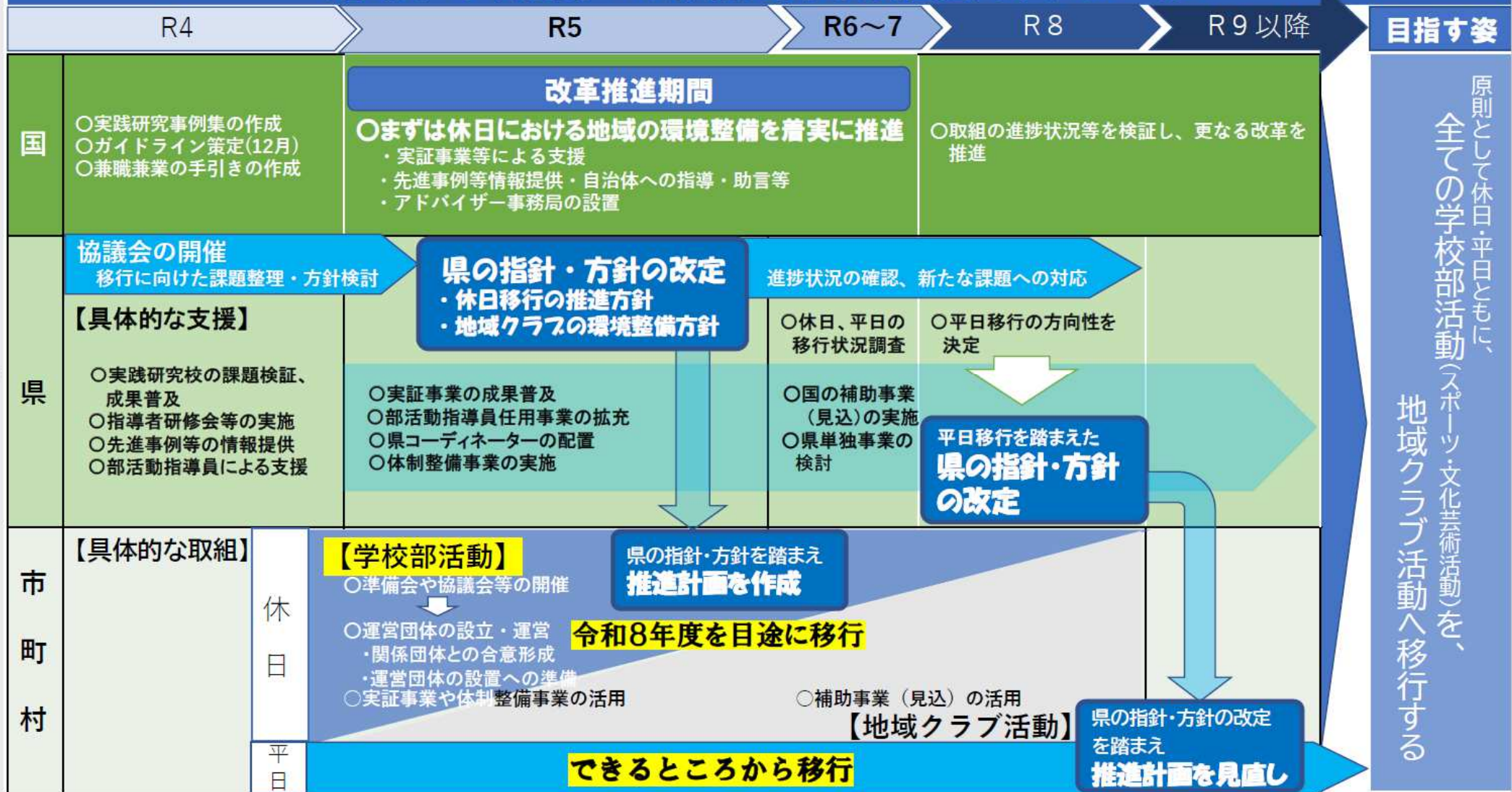
メリット・デメリット

○地域クラブ活動参加のための交通費負担を軽減するとともに、公共交通の利用者が増える

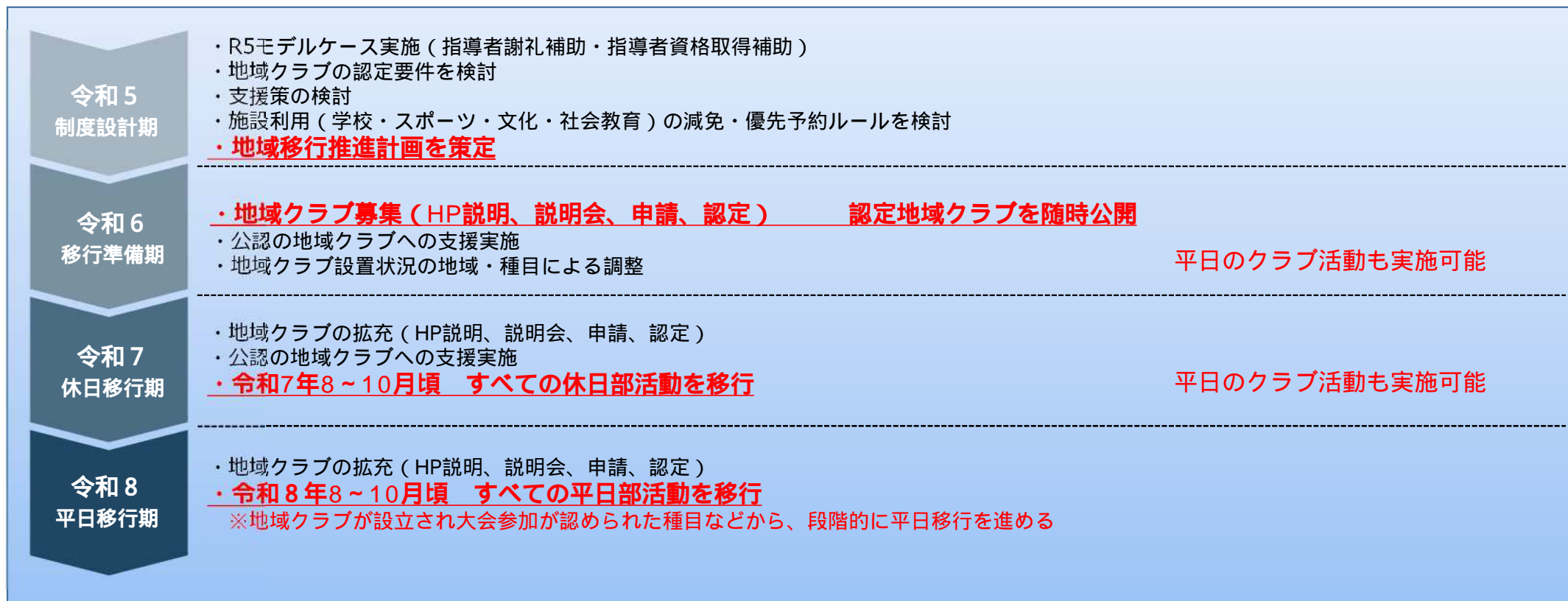
×路線と時間帯が限られるため、利用する人数が少なく負担軽減の効果は限定的

地域クラブ活動への移行に向けた推進スケジュール

資料 4



移行スケジュール案



進め方のポイント

- ・令和6年度に推進計画とスケジュールを説明
- ・令和7年8～10月に休日部活動を移行
- ・令和8年8～10月に平日部活動を移行

休日移行の1年以上前に周知して、地域クラブの立ち上げを促進するとともに、生徒・保護者の地域クラブへの参加機運を高める
夏の大会やコンクール終了後の3年生引退に合わせて地域に移行
完全移行の時期を明示することで、地域クラブへの参加の機運を高める

地域移行の運営スキーム

移行検討協議会 (事務局:教育政策課)

- ・課題事項の検討
- ・推進計画の検討
- ・移行方針等の決定

検討内容の報告

松本市

教育委員会

- 【学校教育課】
- ・学校部活動との調整・教員の兼職業兼手続き
 - ・学校施設、社会教育施設の貸出 など

学校

- ・学校施設の開放
- ・活動状況の共有
- ・生徒への情報提供



- 【教育政策課】
- ・推進計画の策定、支援策(補助金)実施

【生涯学習課】

- ・地域クラブの掘り起こし
- ・地域クラブ活動の認定
- ・取組状況の把握、助言指導
- ・指導者の研修実施、確保 など

市長部局

- 【スポーツ事業推進課】
- 【文化振興課】
- ・地域クラブの掘り起こし
 - ・地域クラブ活動の認定
 - ・取組状況の把握、助言指導
 - ・指導者の研修実施、確保 など



体育施設・文化施設 ・生涯学習施設

- (体育館・グラウンド・美術館
音楽文化ホール・芸術館・
公民館等)
- ・施設利用料減免
 - ・優先貸し出し



必要な
支援

情報
提供

- ・施設開放
- ・情報共有
- ・施設利用減免
優先予約

- ・クラブ申請
- ・活動報告
- ・研修参加

- ・クラブ認定
- ・活動状況把握
- ・研修実施
- ・施設利用減免
- ・優先貸し出し

必要な
支援

- ・クラブ申請
- ・活動報告
- ・研修参加

- ・クラブ認定
- ・活動状況把握
- ・研修実施
- ・施設利用減免
- ・優先貸し出し

予約
利用

指導者
研修など

生徒・保護者

- ・希望クラブの選択
- ・活動への参加
- ・会費の支払い
- ・保険加入 など



- ・情報提供
- ・予約、利用

- ・参加
- ・会費支払い

公認地域クラブ

- ・規約や事業計画の作成・公表
- ・指導者の募集、雇用・業務委託契約、研修
- ・生徒の募集、活動実施、会場予約
- ・会費等の徴収
- ・学校との連絡調整
- ・大会参加
- ・指導者や参加者の保険加入 など



募集

- ・登録
- ・業務委託契約

指導者

- ・兼業の教職員
- ・兼業の市職員
- ・退職教職員
- ・地域指導者
- ・大学生
- ・保護者 など

